

新たな海洋・海事の拠点づくりに向けた取組

世界とつながる知の拠点～海洋文化都市くれ



呉市



国立大学法人広島大学



海上保安大学校



公益財団法人笹川平和財団



+

◇連携する海外大学
世界海事大学（国連専門機関が設立）



Town & Gown構想とは



- ・ 社会変革を伴う地方創生を生み出し，日本を地域から躍動させるための取組
- ・ Town（＝まち）とGown（＝教授や学生の正装とされるガウン，大学そのもの）が手を取り合い，持続可能な未来のビジョンを共有
- ・ 自治体の行政資源と大学の教育・研究資源を融合しながら活用し，科学技術イノベーションによる地域課題の解決と，人材育成のための地域共創の場を形成。それらを通じて持続的な地域の発展と大学の進化を共に目指す。

目標：持続的な地域の発展と大学の進化

～海洋・海事分野の課題解決や地域経済の活性化

アジアにおける海洋・海事の教育・研究・社会連携の拠点形成～



呉市・広島大学 Town & Gown構想推進に係る連携



← 令和5年7月 連携協定を締結

呉市・広島大学Town & Gown構想推進のため、呉市、広島大学、海上保安大学校、笹川平和財団の4者で連携協定を締結

→ 令和6年1月 海洋文化都市くれ推進協議会を設立

多様な機関とともに取組を進めるため、市内外の行政機関、教育機関、企業、団体に構成する協議会を設立（令和6年12月末時点で71団体が参加）



令和6年度の取組（一例）

アジア太平洋船舶海洋構造会議（TEAM2024）の開催（9月25日～9月28日）

広島大学と連携し、呉市にて船舶・海洋構造物に関する国際会議を開催した。

また、国際会議では、観光庁の実証事業に採択され、呉市観光・地域振興アプリ「マイクレ」を活用した国際会議参加者の消費拡大実証プログラムを実施した。



日本のほか、台湾、韓国、中国などのアジア太平洋地域から、約130名の研究者及び学生が参加した。

令和6年度の取組（一例）

海洋文化都市くれ海博2024の開催（令和6年11月10日）

呉市・広島大学Town & Gown構想や海洋・海事関連企業及び団体の取組等を広く市民や全国の海洋・海事関係者にわかりやすく伝えるため、「海洋文化都市くれ海博2024」を開催した。

主催：海洋文化都市くれ推進協議会

会場：大和ミュージアム、大和波止場、海上保安大学校、JMU呉事業所



来場者数：約6,000人
（主催者発表）

出展数：38ブース

※ブース出展のほか、海上保安大学校キャンパス公開、JMU見学、水素旅客船体験乗船など

今後の取組

「リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクト

令和6年10月に、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「地域共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」に広島大学の「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトが採択された。

公募面接審査の際に市長が参加し、幹事自治体としての発言や審査員からの質疑に答えており、今後、広島大学や関係企業等とともに取組を進めていく。



今後の展望

○ 呉市における新たな海洋・海事の拠点づくり

今後、くれ海博等で市民の皆さんの理解を得ながら、呉市における新たな海洋・海事の拠点づくりに関して、呉市・広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団の4者が中心となって、教育・研究・産学連携等を推進していく。

○ 海洋文化都市くれ推進協議会とDX・GXなどの研究推進

海洋文化都市くれ推進協議会を構成する行政機関、教育機関、団体、企業など71団体・企業が連携しながら、「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトなど、呉市をフィールドとしたDX・GXに関する研究等を推進する。

広島大学、海上保安大学校、笹川平和財団及び海洋文化都市くれ推進協議会への参加企業・団体等と連携し、

世界とつながる知の拠点「海洋文化都市くれ」の実現を目指す。